# ２　高等学校

初任者は、１年間、学級や教科等を担当しながら、指導教員等の指導・助言を受けるとともに、総合教育センター等において研修するものとする。

また、その後２年目・３年目においても、校内研修を継続するとともに、校外研修として総合教育センター等で研修を重ねるものとする。

初任者研修計画は、初任者研修実施要領第６の規定により、２年目・３年目研修計画は２年目・３年目研修実施要領第５の規定により、次のとおりとする。

## １　研修内容

(1)　初任者研修

ア　校内研修（年間 150 時間程度（教職大学院修了者は、年間 75 時間程度））

初任者が所属する学校において作成する年間指導計画に基づき、授業等に関する具体的な研修を行うとともに、校務処理や学校教育全般について実務に即した研修を行う。

イ　校外研修（年間 15 日間）

社会人としての心構え、服務、学習指導、生徒指導のうち基礎的理論や、指導法及び実技に関する研修を行う。

(ｱ)　県教育委員会研修（授業研修）（年間５日間）

(ｲ)　総合教育センター研修（年間 10 日間）

(2)　２年目研修

ア　校内研修（年間 10 時間程度（授業研修（年間５時間程度）及び自己研修（年間５時間程度））

所属する学校において、初任者研修の成果を踏まえ、より実践的な授業研修及び自己研修を行う。

イ　校外研修（年間２日間）

教科指導、復興・防災教育、学校安全、キャリア教育に関する研修、自己研修の取組の交流等を行う。

総合教育センター研修（２日間）

ウ　２年目フォローアップ研修（年間１日間）

指導主事・研修指導主事等が所属校を訪問し、授業等に関する具体的な研修を行う。

(3)　３年目研修

ア　校内研修（年間 10 時間程度（授業研修（年間５時間程度）及び自己研修（年間５時間程度））

所属する学校において、２年目研修の成果を踏まえ、より実践的な授業研修及び自己研修を行う。

イ　校外研修（年間３日間）

教科指導、ホームルーム経営、生徒理解に関する研修、自己研修の取組の交流等を行う。

総合教育センター研修（３日間）

## ２　研修全体計画（別紙１　P29）

## ３　初任者研修年間計画

**校内研修**　（年間 150 時間程度（教職大学院修了者は、年間 75 時間程度））

校長は、教員研修計画【基本研修内容】（別紙２　P30～31）を参照の上、原則、週時程に位置付けて行う年間 150 時間程度（教職大学院修了者は、年間 75 時間程度）について、初任者研修年間指導計画書（様式１）を作成し、実施する。

**校外研修**（年間 15 日間）
研修内容は教員研修計画【基本研修内容】（別紙２　P30～31）を参照

**県教育委員会研修**（年間５日間）
(1)　授業研修前期（３日間）会場：教科別に各学校
(2)　授業研修後期（２日間）会場：教科別に各学校
所属校とは異なる学校において講義、演習及び授業参観を通して、学習指導要領や「いわての授業づくり３つの視点」における授業改善の在り方を理解し、学習指導力の向上を図る。

**総合教育センター研修**（年間 10 日間）
(1)　センター研修Ⅰ（３日間）
ア　岩手の教育が目指す方向性について理解し、教員としての使命感と幅広い知見を得る。
イ　学習指導や各領域の指導の在り方について、その基本的な内容を習得するとともに、指導内容等について理解し、教員としての資質の向上を図る。
ウ　学習指導における生徒理解の在り方について、その基本的な内容を理解し、ICT 活用を含めた学習指導力の向上を図る。
(2)　センター研修Ⅱ（４日間）
ア　学習指導や各領域の指導の在り方について、その基本的な内容を習得するとともに、指導内容等について理解し、教員としての資質の向上を図る。
イ　学習指導の在り方について、継続的・発展的な研修を行い、ICT 活用と学習評価の進め方について理解し、指導力の向上を図る。
ウ　生徒指導の意義と進め方について理解し、生徒指導力の向上を図る。
(3)　センター研修Ⅲ（３日間）
ア　社会人としての心構えを確かなものとし、コンプライアンス、メンタルヘルス、感情のコントロール等の教員としての資質の向上を図る。
イ　教科指導における生徒の ICT 活用の在り方や各領域の指導の在り方について理解し、実践的な指導力の向上を図る。
ウ　自己研修の意義と方法について理解し、学び続ける教師としての実践力の向上を図る。

## ４　２年目研修年間計画

**校内研修**（年間 10 時間程度）
校長は、教員研修計画【基本研修内容】（別紙２　P30～31)を参照の上、授業研修（年間５時間程度）と自己研修（年間５時間程度）について、２年目研修年間研修計画書（様式５）を作成し、実施する。

| 研修項目 | |
|---|---|
| ・校内授業研修（年間５時間程度）<br>①教材研究　１時間程度<br>②指導案作成、検討　１時間程度<br>③研究授業　１時間程度<br>④授業研究会　１時間程度<br>⑤振り返り　１時間程度 | ・自己研修の推進（年間５時間程度）<br>①Plan　（テーマ決定等）　２時間程度<br>②Do　（実践）　随時<br>③Check　（分析及び考察等）３時間程度<br>④Action（改善）　随時 |

**校外研修**（年間３日間）
研修内容は教員研修計画【基本研修内容】（別紙２　P30～31）を参照

**総合教育センター研修**（２日間）
ア　教科指導における学習内容の系統性・発展性、生徒の ICT 活用の在り方、学習者中心の授業実践・授業改善の視点について理解を深める。
イ　事件・事故災害発生時の危機管理、「いわての復興教育」の在り方、キャリア教育の現状と課題について理解する。
自己研修の取り組み方に対する視野を広げるとともに、学び続ける教師としての実践力の向上を図る。

**２年目フォローアップ研修**（１日間）
授業実践を基に、教科の特性に応じた教科指導法の工夫や、わかる授業を構想するための教材研究の進め方について理解を深める。

## ５　３年目研修年間計画

**校内研修**　（年間 10 時間程度）

校長は、教員研修計画【基本研修内容】（別紙２　P30～31)を参照の上、授業研修（年間５時間程度）と自己研修（年間５時間程度）について、３年目研修年間研修計画書（様式７）を作成し、実施する。

| 研修項目 | |
|---|---|
| ・校内授業研修（年間５時間程度）<br>①教材研究　１時間程度<br>②指導案作成、検討　１時間程度<br>③研究授業　１時間程度<br>④授業研究会　１時間程度<br>⑤振り返り　１時間程度 | ・自己研修の推進（年間５時間程度）<br>①Plan　（テーマ決定等）　２時間程度<br>②Do　（実践）　随時<br>③Check　（分析及び考察等）３時間程度<br>④Action（改善）　随時 |

**校外研修**　（年間３日間）

研修内容は教員研修計画【基本研修内容】（別紙２　P30～31）を参照

**総合教育センター研修**　（３日間）

ア　教科指導における生徒の ICT 活用や、指導と評価の一体化の在り方について理解を深める。
イ　ホームルーム経営や生徒理解について、基本的な内容を習得し、教員としての資質向上を図る。
ウ　命と人権を守る生徒指導の在り方について理解を深める。
エ　自己研修のまとめとして実践発表と協議を行い、今後の自己研修の方向性を明確にする。

## ６　研修の運営

(1)　校内研修
　当該校が計画し、実施する。
(2)　校外研修
　ア　県教育委員会研修
　　学校教育室が計画し、実施する。
　イ　総合教育センター研修
　　総合教育センターが計画し、実施する。

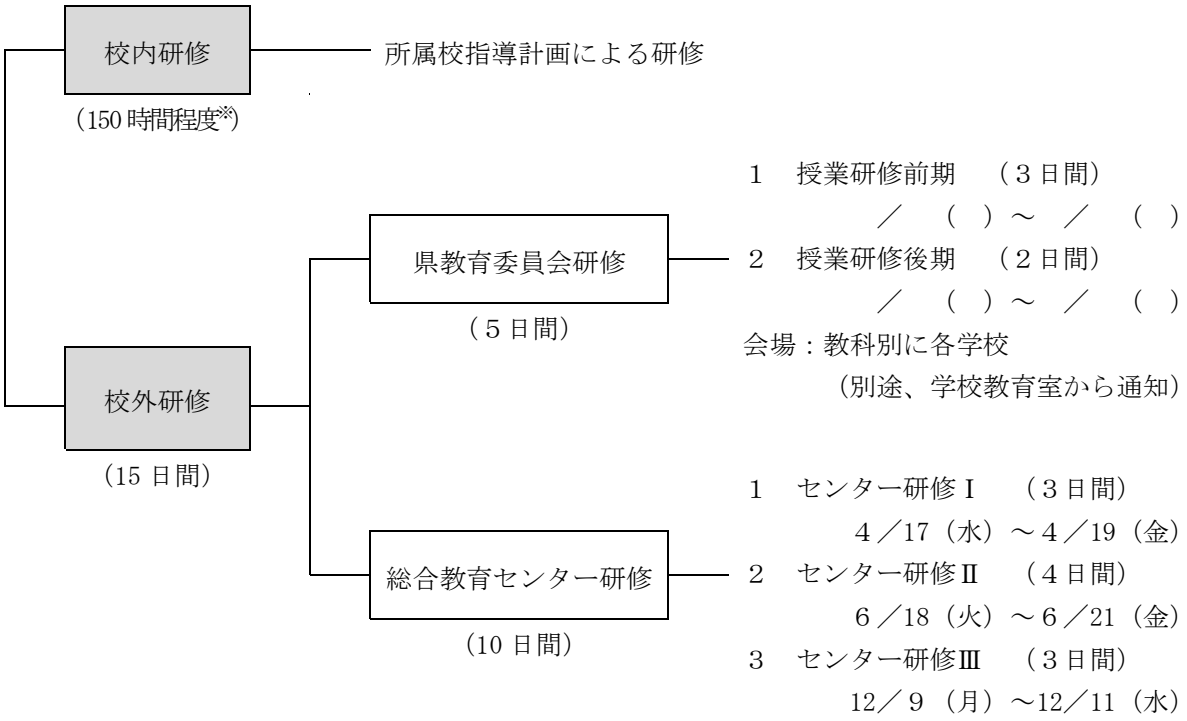
## ７　計画書及び報告書の提出

(1)　校長は、初任者研修年間指導計画書（様式１）を作成し、県教育委員会に提出するものとする。また、研修終了後は実施結果を取りまとめて初任者研修年間指導報告書（様式１）に成果と課題を記入し、県教育委員会に提出するものとする。
　ア　**毎年度５月末までに提出するもの**
　　初任者研修年間指導計画書（様式１）
　イ　**毎年度２月末までに提出するもの**
　　初任者研修年間指導報告書（様式１）
(2)　校長は、２年目研修年間研修計画書（様式５）を作成し、県教育委員会に提出するものとする。また、研修終了後は実施結果を取りまとめて２年目研修年間研修報告書（様式５）に成果と課題を記入し、県教育委員会に提出するものとする。
　ア　**毎年度５月末までに提出するもの**
　　２年目研修年間研修計画書（様式５）
　イ　**毎年度２月末までに提出するもの**
　　２年目研修年間研修報告書（様式５）
(3)　校長は、３年目研修年間研修計画書（様式７）を作成し、県教育委員会に提出するものとする。また、研修終了後は実施結果を取りまとめて３年目研修年間研修報告書（様式７）に成果と課題を記入し、県教育委員会に提出するものとする。
　ア　**毎年度５月末までに提出するもの**
　　３年目研修年間研修計画書（様式７）
　イ　**毎年度２月末までに提出するもの**
　　３年目研修年間研修報告書（様式７）

（別紙１）

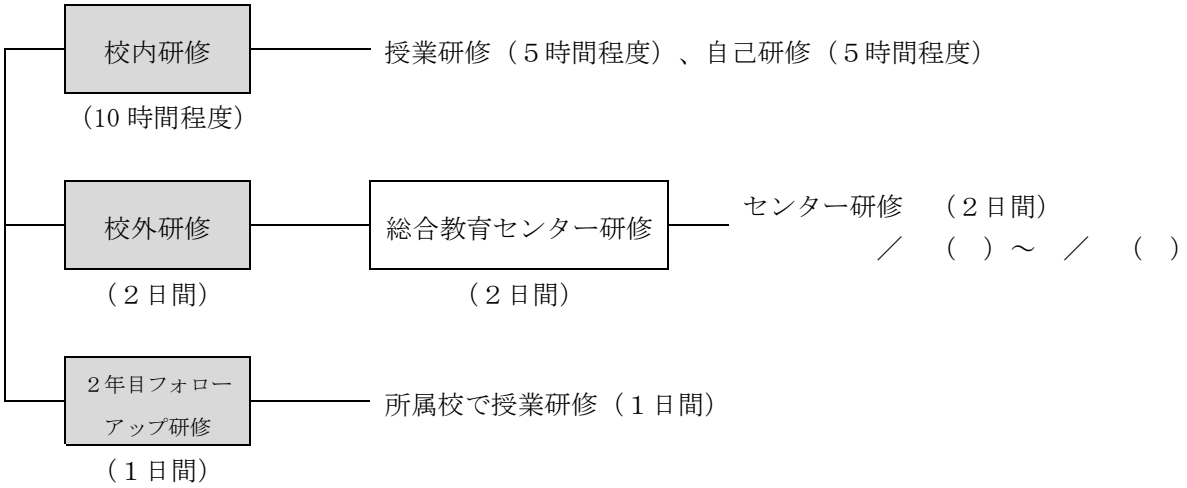
# 高等学校研修全体計画

**【令和６年度　初任者研修】**

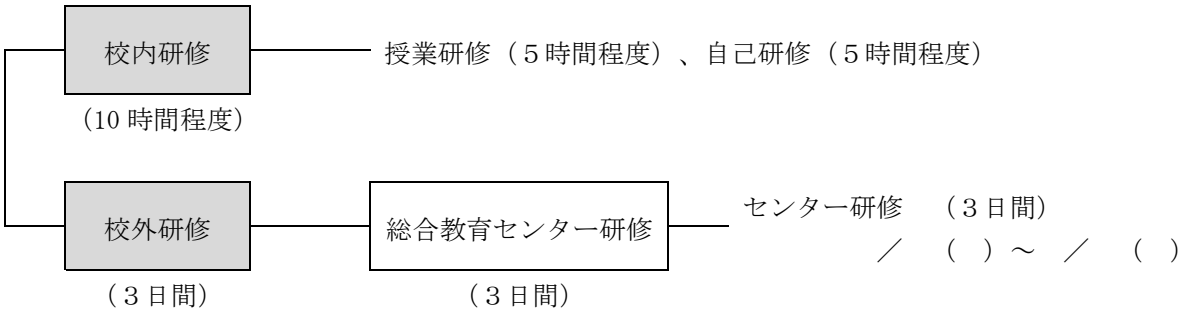



※教職大学院修了者は、年間 75 時間程度

**【令和７年度　２年目研修】**




**【令和８年度　３年目研修】**



（別紙2）

# 令和6年度教員研修

| キャリア・ライフステージ ＼ 研修実施機関等 ／ 育成指標 | | 基礎力の形成期 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 初任者研修 | | |
| | | 所属校<br>（150時間程度） | 県教育委員会<br>（5日間） | 総合教育センター<br>Ⅰ（3日間）、Ⅱ（4日間）、Ⅲ（3日間） |
| 教員としての素養 | | ・教員としての心構え<br>・教職員の福利厚生<br>・男女共同参画の推進 | | ・本県高校教育の現状と課題<br>・服務とその責任<br>・社会人としての心構えとコンプライアンスの理解<br>・メンタルヘルス不調の要因と対処<br>・感情のコントロール<br>・自己研修の意義と進め方 |
| 学習指導力 | カリキュラム・マネジメント | ・教育課程の理解と年間指導計画の作成<br>・消費者教育の進め方<br>・環境教育の進め方<br>・学校全体で進める道徳教育<br>・主権者教育の進め方<br>・人権教育の進め方<br>・健康教育の意義と進め方<br>・食育の意義と進め方 | ・年間指導計画の改善<br>・カリキュラム・マネジメントの在り方 | ・道徳教育の意義 |
| 学習指導力 | 教科教育等の専門性 | ・教材研究の進め方<br>・教材・教具の作成と活用<br>・特別活動の指導の実際 | ・教科の特質と指導の方法<br>・個に応じた指導の進め方<br>・教科授業の参観と実施<br>・授業の分析 | ・各教科における資質・能力の育成と指導の基礎・基本<br>・指導計画・指導案の作成<br>・教材研究の進め方<br>・教科指導技術の向上<br>・総合的な探究の時間の意義と進め方<br>・特別活動の指導の意義と進め方 |
| 学習指導力 | 確かな学力を育む授業 | ・学習指導案の書き方<br>・授業参観の実施と振り返り<br>・研究授業の実施と振り返り<br>・授業における生徒理解<br>・評価問題の作成の仕方<br>・宿題と家庭学習の在り方<br>・学習態度の指導<br>・個別指導・グループ指導・一斉指導の仕方<br>・習熟度別編成による指導<br>・通知表の作成の仕方 | ・学習指導要領の理解<br>・いわての授業づくり3つの視点を踏まえた学習者中心の授業実践・授業展開<br>・指導と評価の一体化に向けた学習評価 | ・学習指導における生徒理解の基本的な在り方<br>・教育実践課題の交流<br>・ICTを活用した教科指導 |
| 生徒指導力 | 発達支持的生徒指導 | ・多様性に配慮した集団指導と個別指導の方法と実際<br>・学校における生徒指導体制<br>・学校行事の指導の実際<br>・学年経営とホームルーム経営の関わり<br>・ホームルーム組織のつくり方と運営<br>・ホームルーム活動の指導の実際<br>・ホームルーム事務の進め方<br>・教室環境の在り方と整備<br>・部活動の指導の進め方<br>・（長期）休業中の生徒指導 | | ・情報モラル指導の実際<br>・生徒指導の意義と進め方 |
| 生徒指導力 | いじめ等の問題行動・不登校等への対応 | ・不登校生徒への対応<br>・問題行動の理解と指導の進め方<br>・いじめ防止とその対応 | | ・問題行動の理解と指導の進め方 |
| 生徒指導力 | 教育相談 | ・生徒のほめ方・叱り方<br>・教育相談体制の理解 | | ・カウンセリング技法の基礎・基本<br>・教育相談の進め方 |
| マネジメント力 | 学校組織における連携・協働 | ・学校教育目標と経営の重点<br>・学校組織と運営 | | |
| マネジメント力 | 危機管理 | ・学校安全の意義と進め方 | | ・教育情報セキュリティポリシー |
| マネジメント力 | 関係者等との連携・協働 | ・PTAの組織と運営<br>・地域社会における組織、関係機関の役割と連携・協働の実際<br>・保護者との面談の進め方 | | |
| 復興教育の視点 | | ・「いわての復興教育」の実際 | | ・「いわての復興教育」の意義 |
| キャリア教育の視点 | | ・キャリア教育の進め方 | | ・いわてのキャリア教育の意義 |
| 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点 | | ・特別支援教育の校内体制の理解<br>・個別の指導計画等の活用<br>・交流及び共同学習の意義と実際 | | ・特別支援教育の意義<br>・発達障がい等の基本的理解と支援の在り方<br>・多様性と包摂性のある学校の在り方 |
| ICTや情報・教育データの利活用の視点 | | 研修を通してICTや情報・教育データの利活用の意義を理解し、 | | |

※　複数の研修内容にまたがる項目は、主たる研修内容欄に記載している。

# 計画 【高等学校教諭 基本研修内容】

| 基礎力の形成期 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2年目研修 | | | 3年目研修 | |
| 所属校<br>自己研修（5時間程度）<br>校内授業研修（5時間程度） | 総合教育センター<br>（2日間） | フォローアップ研修<br>（1日間） | 所属校<br>自己研修（5時間程度）<br>校内授業研修（5時間程度） | 総合教育センター<br>（3日間） |
| ・自己研修の推進<br>（5時間程度）<br>①P（2h程度,1回～n回）<br>②D（随時）<br>③C（3h程度,1回～n回）<br>④A（随時）<br>全部で5h程度を目安 | ・自己研修の発表と協議 | | ・自己研修の推進<br>（5時間程度）<br>①P（2h程度,1回～n回）<br>②D（随時）<br>③C（3h程度,1回～n回）<br>④A（随時）<br>全部で5h程度を目安 | ・自己研修の発表と協議 |
| | | | | |
| | ・教科指導における学習内容の系統性、発展性の理解 | ・教科授業の参観と実施<br>・個に応じた指導の進め方 | | ・指導と評価の一体化の在り方 |
| ・校内授業研修（年間1回5時間程度） | ・学習者中心の授業実践・授業改善の視点<br>・ICTを活用した教科指導 | | ・校内授業研修（年間1回5時間程度） | ・個に応じた指導の進め方（生徒の特性や学習状況の理解等に応じた指導の進め方）<br>・ICTを活用した教科指導 |
| | | | | ・ホームルーム経営と担任の実務 |
| | | | | ・いじめ防止と対応の進め方 |
| | | | | ・自殺予防教育の組織的進め方と個への対応<br>・教員と生徒の望ましい関係づくり |
| | | | | |
| | ・事件・事故災害発生時の危機管理 | | | |
| | | | | |
| | ・「いわての復興教育」の在り方 | | | |
| | ・キャリア教育の現状と課題 | | | |
| | | | | |

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現や校務等での積極的・効果的な活用を図る。